

補足資料2

数理・データサイエンス・AI教育の体制図

経営・社会福祉・デザイン・建築分野に通ずる、データを活用した人材を確実に育成するための全学的な体制

いまの自分の、その先へ。

データサイエンス教育専門の組織を新設

- 本教育の改善・自己点検・評価をきめ細やかに行うため、本教育実施にあたり学務委員会内に「データサイエンス教育担当者会議」を新たに設置。
- 数理・データサイエンス・AI教育を全学に浸透・推進するため、学長を運営責任者に置き、専門委員会である「学務委員会」、自己点検・評価を行う「データサイエンス教育担当者会議」を組織し、科目担当教員との連携を密に、点検・評価を実施。
- 「データサイエンス教育担当者会議」には、本教育プログラムの科目を担当する教員を含めている。

地域社会の課題解決プロジェクト

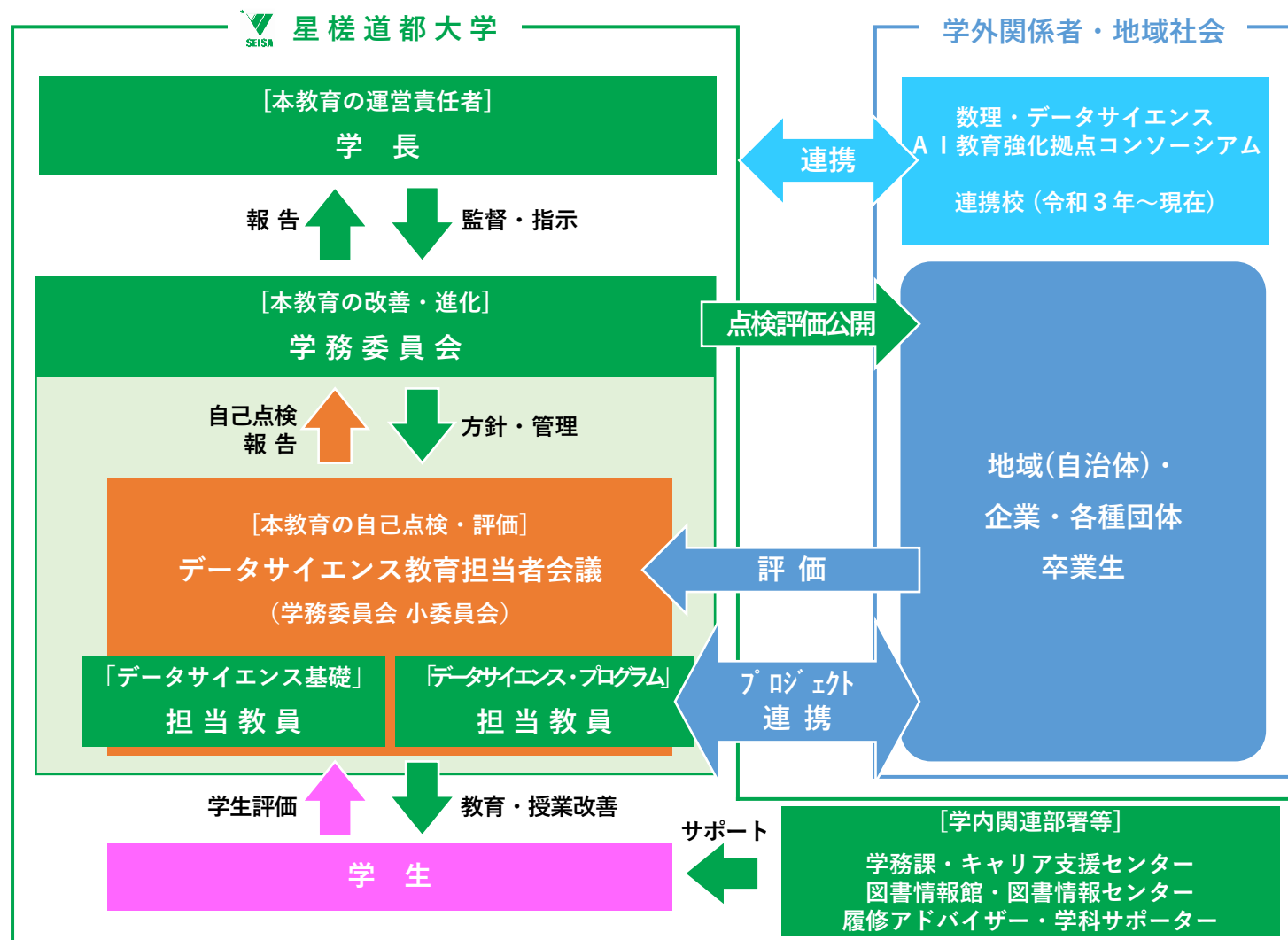
- 「データサイエンス・プログラム」(全学選択・2年次)では、地域社会と連携しプロジェクト型学習(PBL)を行う。

数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアムでの活動・連携

- 令和3年より連携校として参画し、総会・ワークショップ等において本教育改善のための情報収集を継続的に実施。
- コンソーシアムで配布されている他大学の教材を参考に、自作教材の修正・改善を実施。

全学での履修サポート

- 学内関連部署や各学科教員で構成される履修アドバイザー・学科サポーターなどにより、小規模大学ならではの細やかな学修サポートを行っている。



組織名称	委員長等	委員数
学務委員会	建築学科長 伊藤 康裕	14名
データサイエンス教育担当者会議 (学務委員会 小委員会)	図書館情報館長 学長補佐 (IT・情報化担当) 由水 伸	2名